ごしごし福島 「カミツレの里」花まつり参加 活動報告書



第31回「いけだまちひろつカミツレ花まつり」

満開のカモミール畑が続く「カミツレの里」では、たくさんの人が自然とのつながりを満喫していました。













「おはなし会」の準備。

「語り人」(かたりべ)渡辺好(このむ)さんと本番前の打合せを行いました。





「語り人」渡辺好さん(向かって左)と「ごしごし福島」代表の並河進。





「NPO法人 富岡町3.11を語る会」の冊子「伝えたい」。 奇しくも「カミツレの里」花まつりのテーマ「伝える」と合致していました。





「おはなし会」本番。

震災後の福島の状況、ご自分の体験や復興への想いを語る渡辺さん。 「富岡町の人みんなが同じ想いでいるわけではないという前提をまずは知ってください」 という言葉から始まりました。





「ごしごし福島基金」活動のお話。

ごしごし福島のこれまでの活動とこれからについてお話しました。 除染をかかげる団体から、福島の安心につながるお手伝いをする団体へと変化していること。 福島の人たちの声を県外のみなさんに届けていきたいこと。









「おはなし会」の後、みなさんと語り合うことができました。









募金もいただきました。ありがとうございました。

